

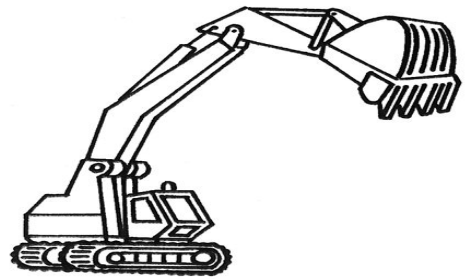
委員会の報告

市議会の中には、財政経済、建設、総務文教、民生福祉の4つの常任委員会が置かれていて、本会議の一般質問などのあとに、担当部局ごとの審査が行われます。また特別委員会として、石炭対策、広報の二つの委員会が設置されています。村上議員は、建設常任委員会、石炭対策特別委員会、広報特別委員会に所属しています。

また、今議会で前年度の決算審査のため企業会計決算特別委員会が設置され、村上議員が委員長に選出されました。



建設常任委員会について



阿寒湖温泉地区の上下水道料金は、大口の利用者ほど単価が安くなっています。(一般的には利用量が増えれば増えるほど、単価があがります)こうした特殊な料金体系を見直せば、一般利用者の負担を軽減できます。

期限を明確にして、料金体系を釧路市に一本化するよう求めましたが、市は今後、「類似の温泉地区の例を調査・研究しながら、上下水道審議会などで協議していく」との答弁に終始しました。

公園の壊れた遊具の修理について質問しました。写真は、阿寒中央公園のジャングルジムです。財政難と言っても、子どもたちが使う遊具が壊れっぱなしではこまります。

この遊具については、今年度中に撤去して新しいものに取り替えることになりました。また、市内全域の公園をチェックして、修理するよう求めました。



通学路が大雨でかけ崩れ、早急に直すことに

先日の台風の大雨で、青陵中学校の通学路の脇の斜面が崩れました。「通学路なので、すぐ直してほしい」と質問しました。

後日、担当課から庁内各課で検討した結果、崩れたところを直すことになりましたと連絡が来ました。いまはバリケードで囲い、ブルーシートをかぶせていますが、ひと安心です。

駅周辺の再開発と浄水場の耐震化

私の考え……

駅周辺整備は、高架で290億円、駅舎の橋上化でも240億円かかります。鉄道高架にしても北大通と共栄大通が結ばれるわけでもなく、過大な投資です。両案とも採用せず、駅の南北の整備など、必要最低限の工事にすべきです。浄水場の耐震化は急がれます。専門家の意見を参考に、できるだけ費用をかけずに、確かな耐震化をはかるべきです。新浄水場の建設については賛成できません。いずれの事業も合併特例債や、水道料金の値上げに直結する問題です。市民生活に過度の負担を強いるやり方はすべきではありません。



広報くしろの中に、市の意見公募のページがあります。鉄道高架や駅舎橋上化についての意見をぜひ市役所に送ってください。私は、「両案ともやらないでください」「同じお金を使うなら、市営住宅の建設をすすめてほしい」と求めていくつもりです。

今一番の問題になっているのは、駅周辺の整備と水道の浄水場です。十月の広報くしろに「鉄道高架」と「駅舎の橋上化」の二案が掲載され、市民意見を募ることになっています。また、愛国浄水場が地震に対する強度が不足することが分かり、耐震補強をするか、一部を建て替えるか、すべての施設を別のところに新設するか、検討が始まりました。耐震補強だけでも八〇億円、新設なら数百億円もかかるとはうもない事業になります。